

きれいな空気よいい水を求めて

# 会報 かんきょう

Vol. 35



photo:「駿府城公園 紅葉山庭園」

## 令和4年度 通常総会開催

- 通常総会 …1
- 講演会「温暖化対策について」…2

## 環境の日

- 三保真崎海岸清掃活動 …3

## 環境講座

- 藁科川の生きもの観察会 …4

- かんきょうにゆーす …5

令和4年度  
通常総会

静 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

## 令和4年度通常総会開催

時：5月11日(水) 於：グランシップ 910会議室

令和4年度通常総会は、松永会長の挨拶から始まり、来賓の静岡市議会副議長 佐藤成子氏、静岡市環境局長 田嶋太氏からご祝辞を賜りました。また、役員改選に当たる本年度は、会長に日本軽金属(株)清水工場工場長 小野田和靖氏が、副会長には(株)ノダ清水事業所所長 海野晃氏が就任されました。

次の6つの提出議案はすべて原案どおり承認、可決されました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度収入・支出決算
- 第3号議案 役員の選任(案)について
- 第4号議案 現金支払い細則(案)について
- 第5号議案 令和4年度事業計画(案)
- 第6号議案 令和4年度収入・支出予算(案)



### 会長就任の挨拶

日本軽金属(株) 清水工場 工場長 小野田 和 靖



この度、会長に就任しました日本軽金属(株)清水工場の小野田です。よろしくお願いいたします。

皆さんご存じの通り、新型コロナウイルスが2020年から流行し、現在は第7波が猛威を振るっています。経済活動、日常生活も一定の制限が設けられ皆様におかれては大変な日常をお過ごしと思います。コロナの収束はもちろんのこと世界情勢の安定も心から願う日々です。

環境に目を向けてみますと、2050年のカーボンニュートラルに向け官民ともに一步踏み出したところであり、毎月のように各地で発生するゲリラ豪雨や線状降水帯の発生、また偏西風の蛇行による干ばつなど異常気象が続いております。これらを考えると、カーボンニュートラルという宿題は、日本のみならず世界中で真剣に向き合うべき課題であると認識いたします。また、SGDsの取り組みについては次世代に問題を先送りしないことを意識して活動していきたいと考えております。皆様のご協力をお願いいたします。



## 講演会

〔演題〕温暖化対策について～今後の静岡市の政策と企業に求めるもの～

〔講師〕静岡県環境局環境創造課 課長 佐藤暢久氏

令和4年度通常総会において、静岡県環境局環境創造課 課長 佐藤暢久氏をお招きし、「温暖化対策について～今後の静岡市の政策と企業に求めるもの～」のご講演を拝聴しました。

冒頭、佐藤氏は、地球温暖化対策推進法の一部改正法の成立（2021年5月）による国内の温暖化対策への注目度の高まりを踏まえ、温暖化対策は世界の関心事であることを強調されました。併せて、静岡市においても、静岡市長による「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」宣言（2020年12月）をはじめ、グリーン成長戦略を意識した組織改正（環境創造課へのグリーン政策推進室の新設）・計画策定着手（第4次静岡市総合計画への反映）といった取り組みが進行していることを紹介されました。

講演は、下記のテーマごとにご説明をいただきました。

## 1. 地球温暖化について

大気中に排出される温室効果ガスが増加し、太陽光による熱の吸収量が増したことが、地球温暖化の要因です。温暖化は、海面水位上昇、生態系の変化、健康被害、異常気象といった事象をもたらし、事業活動・市民生活への大きな影響が懸念されます。

そこで、日本政府は、地球温暖化対策計画を改定し、温室効果ガス排出量の削減率目標を従来の26%減から46%減に高めました。同計画では、事業者の基本的役割を明記し、サプライチェーン全体の排出削減を促進するものとなっています。その他、対策の推進に向け、多様な政策手法の駆使、情報提供・活動支援・基盤整備といった国・地方公共団体の役割についても明記されています。

## 2. 世界における議論の進展

パリ協定、IPCC1.5℃報告書、G7コーンウォールサミット等にて確認された内容に基づき、2050年までのカーボンニュートラルを実現するということが、世界の大きな潮流となっています。

## 3. 日本における議論の進展

2020年の菅内閣総理大臣の所信表明演説では、積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長に繋がるという発想の転換の必要性和、世界のグリーン産業を牽引し経済と環境の好循環を作り出していくという決意が述べられました。これは、グリーン成長戦略に反映され、温暖化対策に積極的に取り組む企業への政府の支援を、あらゆる政策をもって行うこととしています。

地域に目を移すと、地域脱炭素ロードマップが2021年6月に制定され、その具体策として脱炭素先行地域の選

定が開始され、2022年4月に静岡市を含む26地域が選定されました。

静岡市は、清水駅東口エリア、日の出エリア、恩田原・片山エリアの3地域を脱炭素先行地域として太陽光発電での再生可能エネルギーの地産地消を目指していきます。



## 4. 国内企業の動き、市民の意識

2017年の環境産業市場約105兆円の内、温暖化対策部門が約40兆円を占め、2000年の約5兆円から大幅に拡大しています。

国内3メガバンクではESG投資を積極的に行う方向性が示されており、静岡市内金融機関も、各々ESG投資への取り組みを進めています。

経団連の企業行動憲章（2017年11月）には、環境問題への企業の主体的行動の促しと、憲章の精神の実現が経営トップの役割であることが明記されており、国内企業各社の取り組みも進んでいます。

静岡市令和2年度市民意識調査によると、「自然環境を守るために実行していることがある」との回答が80%を占め、市民レベルでの環境への意識も高まっています。

最後に、静岡市で用意している中小企業者向け支援メニュー「エコアクション21取得費補助金」「省エネルギー設備導入補助」「省エネアドバイザー派遣」の紹介と、市が策定する計画へのパブリックコメントへの協力依頼等がなされ、講演は終了しました。

今回の講演にて、地球温暖化は、様々な事業活動・市民活動に影響を及ぼすと同時に、事業活動・市民生活そのものが温暖化の原因となる温室効果ガスの排出主体であることを再確認しました。だからこそ、国・地方公共団体・企業・市民が、温暖化対策に対するベクトルを一にして、出来ることから、着実に取り組む必要があると感じました。

（株）清水銀行 藤浪達也





## 三保真崎海岸 清掃活動

鈴木(株)  
石原健一



### 環境への取り組みが世界中に広がることを願って——

2022年6月4日(土)に三保真崎海岸(静岡市清水区三保)の清掃活動を実施いたしました。

本活動はプラスチック製品による環境汚染が問題視されていることや富士山世界文化遺産の構成資産である三保松原の観光客増加を踏まえ、環境月間である6月の取り組みとして、例年実施しておりました。

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、残念ながら活動中止となりましたが、今年は開会式・閉会式といったセレモニーの中止、参加人数の制限等、感染症対策を徹底した上での清掃活動となりました。

三年ぶりの清掃活動となりましたが、当日は天候にも恵まれ、参加企業36社の社員の皆様やそのご家族を中心に、子どもから大人まで総勢369名の方々にお集まりいただきました。当日は、午前9時からゴミ拾いを一斉に開始し、ビニールやビン、缶、ペットボトル、食品トレイ、包装袋、発砲スチロール、ガラス等、約1時間で回収したゴミの量は可燃ゴミ、不燃ゴミあわせて140kgになりました。

海岸のゴミは、海岸の利用にともない直接捨てられた「放置ゴミ」と、その海岸とは別の場所でポイ捨てされたゴミや屋外に放置されたゴミが風雨によって河川や排水溝に入り、海に流れ出て海岸に漂着した「漂着ゴミ」に大きく分けられます。

「放置ゴミ」をなくすためには、海岸を利用する一部のマナーの悪い人の意識を変えることが必要ですが、「漂着ゴミ」については、社会全体が普段の生活の中で海にゴミが流れていることを自覚し、ポイ捨てやゴミの放置をしないことはもちろんのこと、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組みを推進していくことが重要と考えます。

「漂着ゴミ」を含む海洋ゴミの削減については、SDGsの取り組みにも「[目標14]海の豊かさを守ろう」として挙げられ、国際社会全体で取り組む項目にもなっています。今後、はじめての人にも清掃活動に積極的に参加いただき、より多くの人に現状を知ってもらい、環境への意識を高めていくとともに、国内だけではなく、世界中に同様な意識が広がることを願い、地道に活動を行っていきます。

引き続き、静岡市の誇りから日本の景観の代表となった三保の海を大切に守っていきたいと思います。





## 藁科川の生きもの観察会

令和4年8月25日(木曜日)

8月25日(木)、NPO法人アースライフネットワーク(静岡県地球温暖化防止活動推進センター)の守屋司子さんを講師に迎え、「藁科川の生きもの観察会」を開催しました。3社13名の親子が参加し、水環境について学びました。

藁科生涯学習センターに集合した参加親子は、会議室で守屋さんのお話を聞いた後、持参したタモ網を持ち川に移動しました。

それぞれ生きものを探し、捕まえては守屋さんに「これは何?」と聞きながらバケツに入れていきます。

1時間ほどで様々な生きものを見つけることができました。

また、藁科川の水の中に、汚れがどれくらい含まれているかも検査しました。COD(科学的酸素要求量)パックテストを用いて、水の色がどのように変化するかしばらく待ちます。すると、透明だった水がピンク色になったことから、藁科川の水がきれいだということが確認できました。

捕まえた生きものを川に戻した後は、会議室で「どんな生きものも大事で、多くの生きものがつながり



● 合って生きている」という「生物多様性」についてのお話などを聞き、観察会は終了となりました。

● 参加した皆さんが笑顔で帰る姿が印象的でした。

● 事務局 小林寿美

### 当日捕まえた生きもの

● 魚 類:カワムツ、ヨシノボリ、シマドジョウ

● 節足類:テナガエビ、スジエビ

● 昆虫類:ハグロトンボ(成虫・幼虫)、コオニヤンマ幼虫、

● モンキマメゲンゴロウ(成虫)、モンキアゲハ

● (成虫メス)、ヒラタカゲロウ(2mm位)、フタ

● スジモンカゲロウの抜け殻(2cm)



## 事務局からのお知らせ

### 令和4年度事業報告・事業計画

令和4年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

#### 静岡市中小企業者

##### エネルギー設備導入事業補助金の周知

申請期間:令和4年4月1日(金)～令和5年2月28日(火)  
〈静岡市環境局環境創造課から依頼〉

##### クールビズの実施 5月1日(日)～9月30日(金)

〈静岡市環境局環境創造課から依頼〉

##### 理事会 5月11日(水)【12名出席】

- ① 令和3年度事業報告及び収入・支出決算
- ② 役員を選任(案)
- ③ 現金支払い細則(案)
- ④ 令和4年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)

##### 通常総会 5月11日(水)【47名出席】

- ① 令和3年度事業報告及び収入・支出決算
- ② 役員を選任(案)
- ③ 現金支払い細則(案)
- ④ 令和4年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)
- ⑤ 講演会「温暖化対策について」

静岡市環境局環境創造課 課長 佐藤暢久氏

#### 静岡市環境大学2022受講生募集

募集期間:5月13日(金)～6月13日(月)

〈静岡市環境局ごみ減量推進課から依頼〉

#### 環境の日および環境月間の啓発活動

6月1日(水)～6月30日(木)

##### 三保真崎海岸清掃活動

6月4日(土)【36社・369名参加】

#### 植林活動

第1回下草刈り 6月25日(土)【14社・66名参加】

第2回下草刈り 10月22日(土)

#### エコアクション21取得支援セミナー事前説明会

6月29日(水)

〈静岡市環境局環境創造課から依頼〉

#### 夏の市民の森づくり 7月3日(日)【4名参加】

〈静岡市環境局環境創造課・興津川保全市民会議から情報提供〉

#### 会員親子見学研修会

8月10日(水) ※開催中止

#### 環境講座 藁科川の生きもの観察会

8月25日(木)【3社・13名参加】

#### 第11回 排水処理技術セミナー

9月26日(月) ※WEB会議システム

#### 環境セミナー 2月21日(火)

#### 優良施設見学研修会

#### 会報発行 9月・3月

会報「かんきょう」Vol.35号・36号発行

#### 啓発活動 (随時)

#### 情報提供 (随時)



#### 清水区三保クロマツ植樹地

## 下草刈りの実施

【第1回】6月25日(土)

6月25日(土)、清水区三保のクロマツ植樹地で3年ぶりに開催した下草刈りの参加者は14社66名。朝から真夏のような暑さの中、草刈りに汗を流し、作業は1時間ほどで終了しました。

今年3月、三保松原は国の名勝に指定されて100周年を迎えました。さらに、来年6月には富士山世界遺産登録から10周年を迎えます。三保松原の美しい自然を守っていくため、微力ながら今後も活動を続けて行きます。



【令和4年9月30日現在会員数】 126事業所

随時会員を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

【発行】静岡市環境保全推進協会 [ホームページURL] <http://www.shizuoka-kankyosuishin.jp/>  
【事務局】〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡庁舎 環境局環境保全課内 TEL054-221-9373 FAX054-221-1186  
【表紙写真】駿府城公園ランドマーク共同事業体 提供